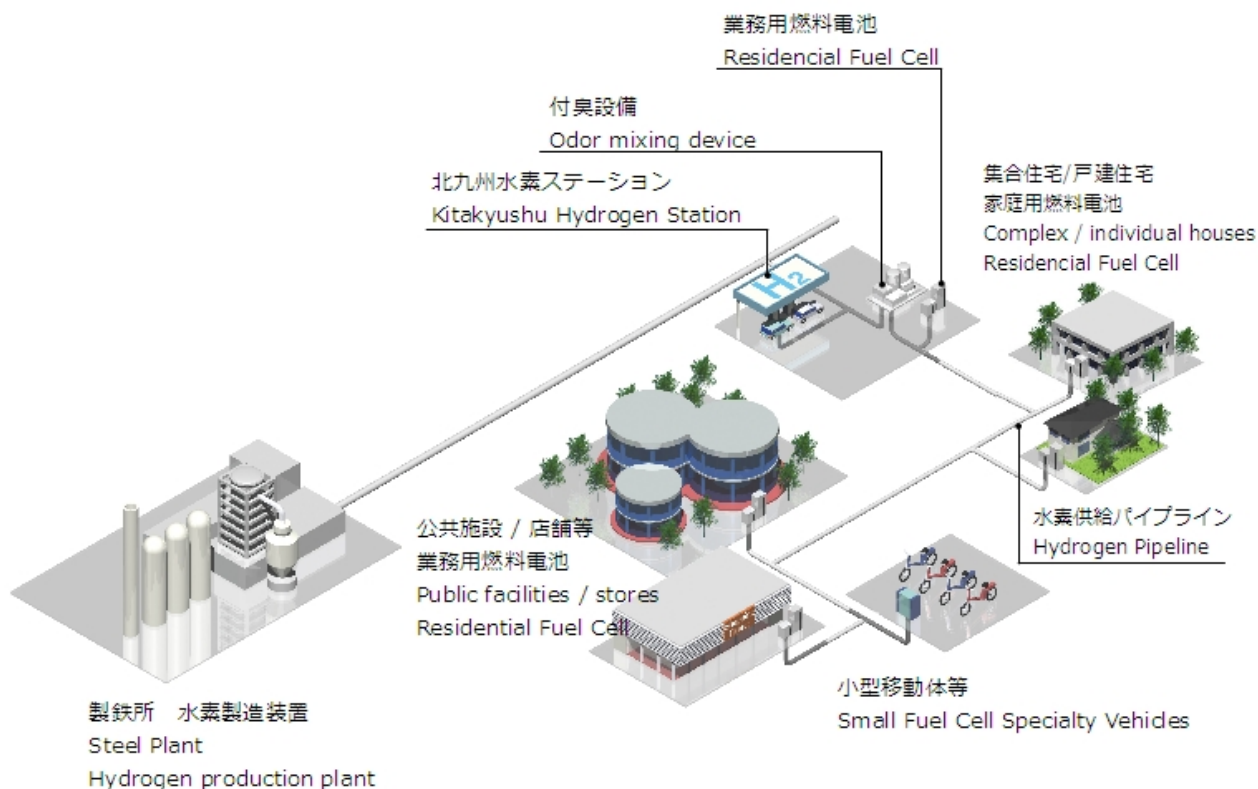


「北九州水素タウンプロジェクト」の概要

【北九州水素タウン イメージ】



【実証試験の概要】

実証試験項目	概要
水素パイプラインによる水素供給技術の実証	西部ガス株式会社へ建設・運用を委託。 水素ステーション内に設置した付臭設備で付臭した水素を供給し、24 時間体制の監視のもと、安定・安全供給に関する運用面での課題抽出を行う。
純水素型燃料電池の運転実証	岩谷産業株式会社へ設置・運用を委託。 1KW 級、100KW 級純水素型燃料電池を複数台設置し、水素利用システムとして評価を行うとともに、計量システム、脱臭装置、遠隔集中管理システム等の周辺技術の検証を行う。
家庭用純水素型燃料電池、太陽光発電、蓄電池の連携実証	JX日鉱日石エネルギー株式会社へ設置・運用を委託。 設置箇所の電力負荷バランスに合わせた効率的・安定的な電力供給システムの検証を行うとともに、停電時を想定した電力系統から自立した電力・熱源供給を検証する。
業務用純水素型燃料電池、蓄電池の連携実証	JX日鉱日石エネルギー株式会社へ設置・運用を委託。 停電時の水素ディスペンサー制御用のエアコンプレッサーへの電力供給の運転実証を行う。
水素低圧充填機の運転実証	岩谷産業株式会社へ設置・運用を委託。 水素低圧充填設備を設置し、燃料電池フォークリフト・燃料電池アシスト自転車等の小型移動体に用いられる水素カートリッジへの水素充填実証を行う。

※北九州水素ステーション

福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議が進める「福岡水素戦略(Hy-Life プロジェクト)」の社会実証「水素ハイウェイ」構築のために建設された水素ステーションのひとつ。2009年9月にオープン。

岩谷産業株式会社(主として設備建設を担当)、新日本製鐵株式会社(八幡製鉄所から副生水素ガスを供給)、JX日鉱日石エネルギー株式会社(主として運転管理を担当)の3社との共同事業。